



学校だより
清色の風
～チャレンジ入来っ子～

薩摩川内市入来小学校

児童数100名(令和7年2月21日現在)

☎ 44-2062 FAX 44-2103

入来小ホームページ・ブログ

<http://www.edu.satsumasendai.jp/iriki-e>

感謝の心を大切に

校長 川邊 浩幸

間もなく3月、卒業・進学、転勤、退職など、この時期になると感謝の心の大切さを感じます。

6年生は卒業式の練習を始めています。6年生が卒業式で呼びかける「お別れの言葉」には、たくさんの感謝の言葉が込められています。普段なかなか口に出して言えないものの、「ありがとう」という思いを自然に表せたら、お互いに心が通い合い認め合って、元気も湧いてくるのでしょうか。

「感謝」の意味について調べて見ると、ある書物にこのように書いてありました。

「感謝」とは、人々に支えられ、助けられて自分が存在するという人間存在の構造に気付くときに、相互に芽生え、育まれる心情である。それは、成長とともに身近な人々から、見えないところで日々の生活を支えてくれる人々にまで対象を広げ、空間と時間を超えて自分を支えている存在に気付かせることによって、自分自身が存在することへの感謝にまでつながり、人間尊重の精神を支えることになる。

また、自分たちの生活や自分自身の存在が多くの人に支えられ助けられて成り立っていることへの気付きが、自分も人々や公共のために役に立とうとする心情や態度につながる大切である。

互いに尊敬と感謝の気持ちを持ち、相手を支えようとするのが、よりよい人間関係につながる。支え合い、助け合おうとする人々のつながりの中で自分にできることを考え、実践することで、支え合いの構造の中で共に生きる喜びが共有され、よりよい人間関係がさらに広がっていく。

6年生の道徳科の授業で、「こだわりのイナバウアー」という教材があります。

フィギュアスケートでオリンピック金メダリストの羽生結弦選手が、技としては得点にならない「イナバウアー」を自分のプログラムに取り入れている理由が書かれています。経営困難と東日本大震災という2度のスケートリンク閉鎖の危機を乗り切るために尽力してくれた、同じ金メダリストで憧れの存在である荒川静香さんと応援して下さる方々への感謝、そして、自分にできることで被災地の方々を笑顔にしたいという羽生選手の思いにふれて、感謝の心について話し合う学習です。さらに、自分の生活がいろいろな人の支えで成り立っていることを振り返って考えていきます。

私もこの春、入来小学校を卒業します。これまで2年間、保護者・地域・関係機関の方々、そして、同僚、恩師や先輩、家族、友人など、どれだけ多くの人に支えられてきたらろうかとしみじみと考え、心より感謝の気持ちを伝えていきたいと思う日々です。皆様、ありがとうございました。

最後に私が好きな羽生選手の言葉を紹介します。(著書『羽生結弦の言葉』より)

- 一番努力した者が、必ず1番の結果を出せるものではありません。しかし、努力しなければ、結果は決して残すことはできません。
- 失敗があればあるほど悔しい気持ちがあっても、それが成長につながると思っているので、別に切り替えなくていい。悔しい気持ちがあるから、明日ワクワクできる。
- 勝ち負けよりも、どれだけ成長できるか、そんな経験ができるかなので…。
- 努力はウソをつく。でも、無駄にはならない。『努力の正解』を見つけることが大切。
- できるときにできることを精一杯やる。できないときは、そのときにできることをやる。

4年生「十歳の誓い」を発表

今年度10歳になる4年生の子どもたちが、「十歳の誓い」をテーマに、目標の漢字一文字を色紙に書いて今後の抱負を伝えました。法律上、成人は18歳ですが、社会的な認識としての二十歳の半分を過ごしてきた子どもたちは、これからも自分の夢に向かって歩みを進めていきます。4年生の皆さんおめでとうございます。



自然の家出前授業星座観望会

薩摩川内市立少年自然の家の職員の方々が星座観望会を開いてくださいました。日暮れの寒い中で参加者は少なかったですが、澄んだ空のきれいな冬の星々を観察することができました。また、川内宇宙館の講師による星の話や、神話の劇の鑑賞もあり、とても楽しめました。星や星座への興味感心が高まったことでしょう。



緑の少年団市民植樹祭参加

緑の少年団の5年生が、薩摩川内市誕生20周年記念「丸山ふれ愛の森」市民植樹祭に参加してきました。当日は雲一つない青空の下での活動になりました。代表植樹で市長さんたちと一緒に記念植樹をしました。また一般植樹で南側斜面に一人3本以上の植樹をしました。ちょうど5年生は社会科で環境を守る森林の学習をするので、今回の活動が事前のよい体験になりました。地域の自然を守る活動ができてよかったです。



新1年生体験入学・入学説明会

新1年生12名（2名欠席）が体験入学で入来小にやってきました。現1年生の子どもたちはこの日のために、あいさつや歌等の準備を頑張ってきました。当日は様々な遊びでおもてなしをしたり、じゃんけん列車をしたりして、新1年生の子どもたちと交流を深めることができました。また、保護者が説明会に参加している間、5年生の子どもたちが学校案内や読み聞かせを頑張ってくれました。

4月から仲間入りする新1年生を温かく迎えることができました。



3月の主な行事

- | | |
|---------|-------------------------|
| 2日(日) | 入来地域文化祭 |
| 6日(木) | 学級PTA 学校保健委員会
家庭教育学級 |
| 8日(土) | 土曜授業 |
| 10日(月) | 移動図書 |
| 20日(木) | 春分の日 |
| 21日(金) | 卒業式準備 |
| 24日(月) | 第78回卒業式 |
| 25日(火) | 修了式 辞任式 大掃除 |
| 26日(月)～ | 4月6日(日) 春休み |



1・2年生生活科交流会

1・2年生が、副田小学校の子どもたちとリモートで交流会を行いました。1年生は校歌や詩の朗読、一輪車の披露を、2年生は生活科の発表と合唱を行い、副田小の友達からたくさん拍手をもらっていました。また、副田小の友達の発表も静かに聞いて、最後に感想の交流ができました。幼稚園以来、久しぶりに顔を見る子どもいて、名前を呼び合って喜ぶ場面もありました。これからも様々な活動を通して交流を続けていきます。

